

図 1 好循環型福祉社会システム イメージ

2. 事業の枠組み

2.1. 事業の目的

生涯現役社会に向けた現状の課題把握を行うため、まずは就労希望、雇用可能性に関する実態調査を行う。併せて、元気高齢者の増加や福祉領域の人材育成・確保に向けた人材育成プログラムの構築・検証を行い、「生涯現役社会モデル」の検討を行うことを目的とする。

2.2. 調査研究における基本的な考え方（事業の実施内容）

上記事業目的を達成するため、本事業においては、以下の内容を実施する。

(1) 委員会の開催・作業部会の開催

① 委員会の開催

事業目的に基づき、「生涯現役社会モデル」の構築に向けた各種調査、プログラム構築に関し、専門的知見から指導・助言を行う。

② 作業部会の開催

委員会方針の基づく作業部会（ワーキングチーム）を立ち上げ、委員会の指導・助言に基づき、事業内容に関する実施計画の策定と事業支援を行う。

(2) 現状調査

- 就労希望に関する調査
- 雇用可能性に関する調査

(3) プログラム構築・検証

- 人材育成プログラムの構築
- 人材育成プログラムの検証

(4) 生涯現役社会モデルの検討

- ▶ 企業および有識者へヒアリングによる生涯現役社会モデルの検討

(5) 報告

現状調査、プログラム構築・検証、生涯現役社会モデルの検討結果を事業報告書としてまとめ、公表する。

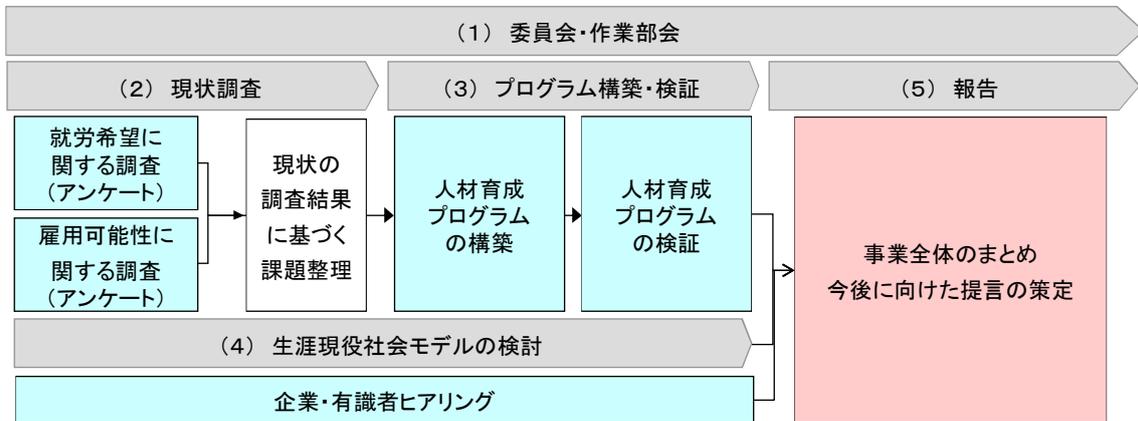


図 2 事業の実施内容

2.3. 事業スケジュール

本調査事業の全体スケジュールは次の通りであり、9月から3月末までの間で実施した。

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施計画書	計画書作成						
(1) 作業部会	事業全体の進捗管理等						
(2) 現状調査① 就労希望		調査設計	対象者リスト作成	調査票送付	調査票回収	集計・分析	
(2) 現状調査② 雇用可能性		調査設計	対象者リスト作成	調査票送付	調査票回収	集計・分析	
(3) プログラム構築・検証			プログラム企画	プログラム構築	参加案内	プログラム検証	
(4) 生涯現役社会モデルの検討			企業・有識者ヒアリング				
(5) 報告						成果報告書作成	

図 3 事業スケジュール